



20081216
[08・06]
総 138号
発行 行坂
自治連合会
広報編集部

桂坂学区創立20周年 ■ 一月一六日 京都エミナース

記念式典 盛大に挙る

桂坂学区創立二〇周年の記念式典が、11月16日、京都エミナースのダイヤモンドホールにおいて、多数の来賓をお迎えし盛大に挙行されました。

午後4時、星野義一実行委員会副委員長の開会の辞が始まり、菊池潤治委員長が主催者を代表して挨拶。

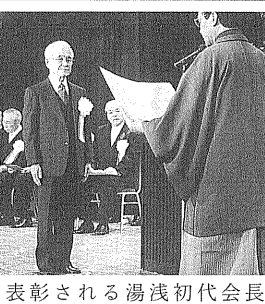
その後、公務でお忙しい中ご出席いただいた門川大作京都市長、水口重忠西京区洛西支所長のお二人から祝辞を頂戴しました。

引き続き門川市長より長年桂坂のためにご尽力いただいた三人の方、自治連合会初代会長として学区発展



菊池自治連合会長

の礎を築かれた湯浅忍氏、連合会発足時より今日まで重職に在って諸活動を支えて来られた田畑昭三氏、広報担当の加藤貞雄氏が感謝状を受けられました。



表彰される湯浅初代会長

桂坂自治連合会 文部科学大臣 表彰

この度、桂坂学区自治連合会安全推進委員会が、文部科学大臣より「学校安全ボランティア活動奨励賞」を受賞しました。

奨励賞状
貴団体の活動は学校教育の安全・安心な実施

に貢献する優れたものであると認められました。ここに今後の努力を期待し、奨励のためこれを賞します。

文部科学大臣

塩谷 立

「学校保健及び学校安全

行政懇談会

去る10月29日(水)、洛西支所管内の各自治連合会と行政との懇談会が開かれ、桂坂学区としては、①消防署の桂坂出張所の設置、②バス停留根・椅子の設置、ならびに③ロータリー中央の緑地化等を要望し、それぞれ回答を得ました。

①は、学区創設の時すでに建設予定地は確保されていますが、毎年繰り返される、市の「財政状況を踏まえながら引き続き検討して参ります」との回答以上のもは出ていません。根拠とするところは次の二点。

① 市の財政逼迫する中で下京と伏見消防署の耐震化を図るための改築が急がれていること。

② 桂坂の積雪時の対応としては例年通り、雪の状況によって「救急隊の増設、消防隊等を一時的に桂坂地域に配備する」、また緊急車両は四輪駆動車とし、スタッドレスタイヤやチェーンを装備して災害・緊急時に対応しうる体制をとるといこと。

これまで要望の中で「積雪時」をとり上げて来たのは、災害など緊急事態の発生時に「桂坂」が道路が寸断し、あるいは車両などで塞がれ孤立状態になった場合の、分かり易い例として持ち出したものであって、降雪時に限らず、「桂坂」が機能マヒし孤立した場合に対する住民の危惧憂慮から出たものです。

②の「バス停の屋根」はこれまで歩道下の埋設管が工事の妨げになって実現しませんでした。多年の要望がかなない今回ようやく西行きの停留所の屋根が設置されることになりました。

東行きの場合も埋設管の問題はありますが、いずれ設置される予定です。

要望③については、つばき自治会長・大西功さんの「桂坂ロータリーの緑地化をはかる要望への回答」に寄せられた文章をご覧ください。

この8月、自治連合会から今年の洛西支所長との懇談会における要望事項を各自治会より募る案内がありました。その一つとして、「桂坂ロータリー中央の緑地化」の要望を、つばき自治会から出させていただきました。

彩りたいと、有志「桂坂花の輪の会」の方々がプランターを置き、その維持に大変なご苦労をされた経緯もありましたが、現状のままでは給水設備がなく、またロータリーの交通量が多くなったため非常に危険でもあり、継続困難で断念せざるを得ない状況でした。

ロータリーの緑地化を図る 住民の要望と行政の回答

つばき自治会 大西 功

桂坂ロータリーは桂坂のシンボルゾーンであり、区域外から訪れる方々も最初に接する場所です。二〇年を経た今でも空地のままであり、時として雑草が茂り桂坂の玄関口としてふさわしい状態ではありません。

以前、ここを何とか花で住む多くの方々の願いが込

められたものです。今年、桂坂が二〇周年記念を迎える年に、桂坂の顔ともいえるロータリーが花木で飾る場所となれば、今までご苦労された方や桂坂の緑地維持に取組まれている方々の努力も報われることとなります。近い将来、視界を遮ることがなく四季の美しい景観を保つ低木の花々が、住民や学区外から訪れる人々の目を楽ませることになるでしょう。

京都市緑地管理課の調査によると、現状では同地の土質が緑化には不十分で、今後、土質改善の方策を前向きに検討されることとです。一日でも早く桂坂のシンボルゾーンになることを願っております。

しかし、「ほっとラインメンバー」として多くの方に登録をさせていただいていながら、当制度の知名度が十分なためかこの制度の利用は今一歩の状態です。

そこで、当制度のご利用について再度ご案内させていただきます。ご高齢の方で、ご家庭内でお困りの事がありましたら、ご遠慮なくお申し出くださいますようご案内申し上げます。

地域の皆さん、桂坂小学校、PTA、少年補導委員会・交通安全推進委員会・防犯推進委員会・山の手俱樂部・地域女性会など各種団体の皆さんの、こうした子どもさんの安心・安全を思いやる日頃の諸活動が評価されたものです。

11月25日(火)、文部科学省において「奨励賞」の表彰式がありました

ご案内 「ほっとラインの会」のご活用を

りではできない、ちょっと手を貸してもらえたら」と困っておられる場合、その手助けをする会です。

● お住いの家具移動、簡単な修繕や敷地内・野外での軽作業(二時間ほどの作業)

● 簡単にできるお手伝いなど(要相談) ※できない事もあります。が、先ずはご相談ください。

★ 作業工程で材料などを必要とする場合は依頼者に費用負担をお願いいたします。

■ 「桂坂ほっとライン」

■ 受付・連絡先

青山 3333-2051 (つばき)

田中 3322-1565 (かえで)

中西 3931-4622 (さくら)

真野 3311-8792 (しらかば)

山口 3311-7053 (ひいらぎ)

桂坂ほっとライン 運営委員会

桂坂学区創立20周年記念

ふれあい会

合同作品展

11月16日の2時より、創立20周年を記念するイベント「桂坂ふれあい会」が開催されました。

記念実行委員会の菊池潤治委員長の挨拶の後、大枝中学校吹奏楽部の、六島園子先生指揮によるハツラツとしたオープニング演奏。引き続き桂坂山の手倶楽部のコーラス。いつまでも若々しく、歌うことを楽しんでおられる姿には、こちらが元気をいただきました。



笑顔が印象的でした。

最後のステージは、シルフィード室内楽・コーラスで、まず矢本知里さんの素晴らしいソプラノ独唱、歌劇『トスカ』の「歌に生き恋に生き」にすっかり魅了されました。室内楽の演奏とコーラスの美しいハーモニーに観客席から大きな拍手が送られました。

文化活動の盛んな桂坂ならではの充実した内容で、あっという間に楽しい時間は過ぎて終わりました。出演の皆さん、実行委員会の皆さん、お疲れ様でした。ありがとうございます。

編集委員 浅田泰子



11月2日、3日の両日、ふれあい会館で開かれた桂坂の、山の手倶楽部、地域女性会、そして今回は社会福祉協議会も加わった「合同作品展」には多くの人たちが鑑賞に訪れました。この催しは、一〇周年時

の試みが一〇年後のこの秋に再び合同の形で実現したものです。絵画、写真、書に俳句、さらには手芸、工芸、陶芸、盆栽など、多様なジャンルの作品の展覧は見事で、日常のたゆまぬ研鑽錬磨があったればこそ技と心一体となって紡ぎ出される作品ですから、参観者の目を奪いました。会場にはお茶席も設けられ、心みたされた後で、茶菓をいただきながらの歓談—うれしい一時を過ごすことができました。合同作品展は文化の香りを漂わせ、作品群はその華やかさで桂坂の秋に彩りを添えてくれました。今回に見られたこれら三団体の「合同」は、今後さらに実ある「協同」へと進み、また他にも派生して行くことになって、桂坂の豊かなまちづくりの原動力となるに違いありません。

平成二〇年の秋に見る桂坂

昨今は社会全体の閉塞ただならぬものがあり、その翳りをもろに受ける私たちの心象風景たるや、まことに寒々としたものがあります。しかし、年年歳歳同じように四季は巡り来て、今年も桂坂の秋は帯が色鮮やかに彩られ、自然の妙味を実感します。

二〇周年を迎えたこの秋に桂坂学区内で見聞きする皆さんの活動の姿を紹介してみようと思います。

■「協同」への動き

各種団体が活発に活動されていることは「ふれあい会」や「合同作品展」などから知ることができます。

会員制をとる山の手倶楽部、地域女性会はいずれも親睦を図りながら同好会を中心に活動し、その成果を問われた「合同作品展」も成功裡に終わりましたが、これを機に、交流し、「協同」していこうとの気運も高まって来たようです。

体育振興会は、スポーツを通じて学区の皆さんの健康増進と親睦を図ることを念頭におきつつ各自自治会の体育委員の人たちと共に、技を競い合うことを重視する一方で、老幼の別なく誰もが参加できるソフトな種目も採り入れる、例えば先駆者・山の手倶楽部の協力でグラウンドゴルフを導入するなど体育の振興の手立て一つにも気配りが窺えます。体育祭では幼児から高齢者まで参加して大いに盛り上がりを見せました。

■学区を超える活動

社会福祉協議会の朗読サークル「木もれ日」は今年「源氏物語千年紀」の行事に参加して、朗読劇「紫の上 月の露」の公演を京都府庁、文化博物館、関西日仏会館、大枝中学校等で行い、日仏会館の公演では日本語とフランス語の美しく響き合う劇に仕立てたこと



桂坂小学校 創立二〇周年記念

20周年記念♪カザラックコンサート



恒例のコンサートは学校創立二〇周年を記念し、楽しい企画が盛り沢山、参加者の心を一つにしました。「子どもたちや、先生、保護者、地域の方々、卒業生……みんなで小学校の『私たち』をお祝いする会場にしよう」と企画・準備が丹念に進められました。「20周年記念行事報告号」から「PとTと子どもたちのコラボレーション」を伝える記事を紹介しましょう。

過程は参加者にとって素晴らしい経験となり、そこで生まれた連帯感、そのまま本番の会場へとつながり、観客の皆さんを巻き込んだの盛り上がりを見せました。このコンサートが子どもたちにとって、ふるさとの温かいコンサートとして記憶に残り、人生を励ます思い出の一ページになることを願ってやみません。

再びタイムカプセルを埋めました

一〇年もの間、校庭の隅々に大切に静かに埋められていたタイムカプセル。今年二〇周年ということになり、掘り起こすことになりました。「一〇年後の私へ」というお手紙、将来の夢、

「一〇年後の僕たち 私たちへ……」そして、現在在籍する子どもたちにも、タイムカプセルを埋めさせてあげたいという声が上がりました。先生方のご協力のもと、一〇年後に思いを馳せた子どもたちの作品が集まりました。10月17日の記念式典では、全校児童が見守る中、代表の児童から歴代PTA会長に作品が託されました。そして、再び校庭に埋められ、静かな眠りにつきました。



運動会の日(10月25日) 創立二〇周年記念の一つとして、保護者の方のご協力のもと、九三〇箇の風船を飛ばしました。子どもたちの素晴らしい笑顔と共に、空一面、赤、青、緑、黄と、風に乗って……さて！風船はどこへ？メッセージカードを拾ってくれた方からのお手紙やハガキが届きました。さらには各地の新聞にまで——11月28日現在で二八件のお返事がありました。

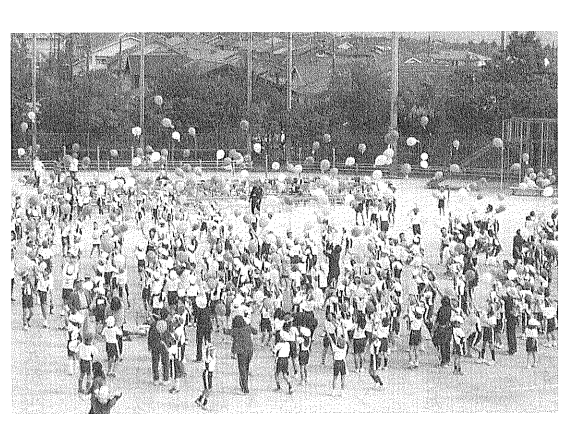
一枚一枚でいいいに補修してください。このタイムカプセルに関わったことで、二〇年前、一〇年前、今、当り前の時の流れの中で、その時々人の繋がりが膨らんで今に生きていくことを、心に沁みて思えました。受け取りにいられていない方、作品をお手元にお返ししたいのです。冬休み中、小学校の「ふれあいルーム」にてお待ちしています。上記以外でも3月までは職員室でお預かりしています。ぜひ小学校に足を運んでいただき作品を受け取ってくださいますようお願いいたします。はたち実行委員会

か、こは、東京！大変なミステリーです。……昨年の夏、小学校の教員をしていた私どもも……千の風に乗って飛べ、是非フランスでもとの声が掛かったそうです。同じく学区を超える活動としては、桂坂小学校PTAのOBで結成するシルフィード室内楽・合唱団が亀岡などで定期的に美しい歌声を披露していますし、また「手作り絵本の会」も作品を発表したり、野鳥遊園のものづくり体験館で「特別体験講座」を担当するなど活躍しています。「自由な雰囲気漂う」桂坂ではこうした同好の士の文化活動も盛んです。より良い桂坂に！ 私たちの桂坂には、「自由な雰囲気漂うまち、安心・便利で住みよいまち、安心・安全のまち」という三つの「まちづくり基本理念」が掲げられています。この理念に基づいてこれまでの桂坂のまちづくりは豊かな自然環境の中で行われて来ましたが、ところが昨年、降って湧いたようにマンション

教室でカードに書き込む際に、担任の先生が「拾った人がその日ちよっと幸せな気持ちになるような、そんなメッセージにしてや」と声をかけてくださったそうです。さりげない素敵なアドバイスですね。この他、長野県飯田市立上久堅小学校には、1年生が飛ばした「おんががたのしい」というメッセージが届きました。今度は、上久堅小学校の1年生がその返事として、写真や学校の地図を送ってくれることになりました。ところが、子どもたちは返事も風船で届

来てください！ そんな呼びかけに大勢の卒業生、保護者の方々が作品を受け取りに来てくださいました。この日のために準備した「語らいスペース」では、時間を閉じ込めていた箱をいきなり開けたかのように生き生きとした時の流れが溢れて押し寄せ、駆けつけてくださった当時の先生方の声かけに、あちらこちらで和やかな輪ができていました。一目で一〇年の時を実感させてくれる顔、中には小さなお子さん連れの方もおられ、歳月の重みを感じました。水に浸っていた作品もあったのですが、歴代のPTA役員さんたちが

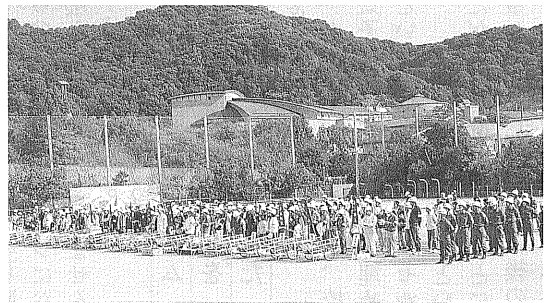
出会いはこんな風船飛ばし



拾った方は、きっと幸せになります。このカードを大切に持って下さい」と6年生が書いたカードが付いていたそうです。問題が持ち上がり、住民はこの問題に一時翻弄され、近隣、あるいは家庭内で波風が立ったという話さえ耳にしました。昨年9月、学区としてマンション建設反対の意志が鮮明になると、事業主は12月に商業施設建設に計画を変更してきました。その後は何の連絡もなく、今のところ「予定地」にも変化はありません。「予定地」西側のロータリーは桂坂のシンボルであって、「ロータリーの緑地化」「古墳公園」を再び近隣公園にという思いは私たちのかねてよりの願いで実現させたいことです。今回の「不慮の出来事」に遭遇したことで、私たちの「桂坂」を見る眼に変化を来したことは確かです。私たちは「より良い桂坂の景観とまちづくり」に向かって一層の努力をしなければなりません。編集委員 加藤貞雄

桂坂学区 総合自主防災訓練

11月2日 桂坂小学校グラウンド

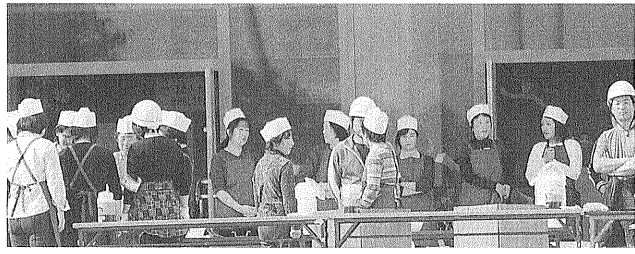


桂坂自主防災会の総合防災訓練が、11月2日の日曜日、西京消防署の協力を得て桂坂小学校で開催されました。

新しく発足したもくれん自治会の防災部を加えて、今年も学区内の全一五自治会の防災部が参加し、消火・救急・救出救護の各訓練が行われました。

救急訓練では、二本の棒と家にある毛布などを用いる応急担架の作成訓練、三角巾による止血法の実習、また、救出救護の訓練ではジャッキなど救出用の器具（これら「七つ道具」は各自主防災部に備えられています）を使って倒壊家屋を持ち上げ下敷きになっている人を救出する訓練が消防分団員の指導のもとで行われました。

各防災部の旗を先頭に会場に到着した人たちは先ず「煙中避難訓練」のテント内を通ります。火災の発生時に煙に巻かれて逃げ場を

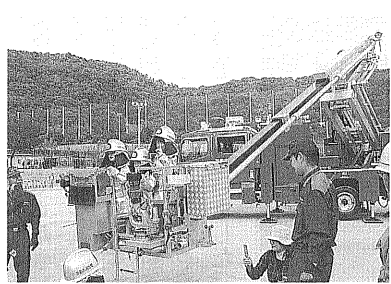


失わないように、腰を低くおとし鼻や口をタオル等でマスク替わりにふさぎながら避難する訓練です。この煙の中を避難する時には煙の稀薄なところを「腰を低くして」ということの大切さ、これが意外と知られていないようです。

消防分団の小型動力ポンプを使った放水訓練のあと

「体振」ニュース
西京ボウリング大会
桂坂チーム 優勝！
松尾学区の
四連覇を阻止

11月23日、第26回西京ボウリング大会がしようざんボウルで行われ優勝の栄冠



今年、桂坂消防分団は平成10年に結成されてより一〇年の節目を迎えました。総合訓練の終了した後大きな消防車の待機する中で、子どもさん中心に各種イベントが行われました。

消防フェスタ

ぼくたち消防士



杉本西京消防署長の講評がありました。

訓練を終えた人々には最後に、給食班の用意された恒例の温かい豚汁が振る舞われ、そのおいしさに皆さん舌鼓を打たれました。これは桂坂小学校PTA・

地域女性会・山の手倶楽部や各自治会派遣の皆さんが調理されたもので、桂坂自主防災会が緊急時に備える大きなナベやコンロ等を使い、一〇数年に亘る給食班の「伝統」の受け継がれている豚汁です。

消防分団の歴史を刻むパネルの展示のほか、子ども用の防火服を着てハンゴ車に乗り込んで記念撮影をしたり、放水体験、ロープを伝って渡るレスキュー隊体験をしたり、皆さん大いに楽しんでいました。大人と子どもがいっしょになって消防車との綱引きでは、人様に軍配が伸びました。中には「ぼくら、もう引張ってないのに消防車、動いたよ」と首をかしげる子もおりました。

年末特別警戒

桂坂消防分団

12月に入り一年を締めくくる月となりました。

年末は、火を使う機会も多く、年の瀬の慌ただしさの増す時でもあって、「ついうっかり」ということもありがちです。「火の元」「火の扱い」には十分気を

付けていたいです。

最近、桂坂では「放火」と見られる不審火が四件ほど発生しています。

そこで放火防止対策のパトロールを12月5日以降実施し、さらに、12月15日から始まる「年末防火運動」

この年末を「無火災」、火災「ゼロ」を目指して防火活動に取組み、皆様が良い新年を迎えられますよう団員一同頑張る所存です。

また、12月26日（金）には、午後8時30分頃、消防分団器具庫前で、洛西支所

で、2位の松尾学区に約一〇〇ピンの差をつけて見事に団体優勝を果たし、桂坂の二〇周年にまた一つ花を添えてもらいました。

個人成績でも、女子の部

以上、10位までの入賞者（敬称略）

「体振」ボウリング
担当 船越 彰
永原美恵子

また、「3kmジョギング大会」では、大枝中学1年の和田優香里さんが見事優勝しました。

毎年この大会で「常勝桂坂！」を作り上げていくために、パトンの「繋ぎ技」のように、次世代へ確実に繋ぐ行事の一つとして、伝統を作り上げていければと思っています。

男子の部でも戸田雅之さんが2位、福岡寛さんが4位になるなど素晴らしい成績でした（主な成績は別掲）。

ボウリングは個人競技ですが、桂坂チームは選手一丸となって、アドバイスあり応援ありで、明るく楽しくチームプレーでの勝利であったと思います。次回からは、追う立場から追われる立場となりますが、連覇目指して頑張ってください。

市民フェスティバル
男女混合
800mリレー
二連覇ならず2位

来年は、これを見ている「あなた！」が主役です。

体振りレーカーニバル
担当 佐藤 俊也

桂坂「体振」は「男女混合八〇〇mリレー」で二連覇をかけて挑みましたが、惜しくも決勝で第2位、あと五〇cmの差で連覇はなりませんでした。

しかし、選手全員、事前に参加した成果があり、パトンは他を寄せつけない素晴らしい「繋ぎ技」の達成感を実感することができました。

去る11月3日、西京極総合運動公園において、第20回市民スポーツフェスティバルが開催され、その中でリレーカーニバルが開かれました。

桂坂「体振」は「男女混合八〇〇mリレー」で二連覇をかけて挑みましたが、惜しくも決勝で第2位、あと五〇cmの差で連覇はなりませんでした。

11月3日、京都市体育館においてソフトバレーボール大会が行われ、桂坂「体振」のA、B両チームとも見事に二勝し、優秀賞に輝きました。

京都体振創立記念
「大玉ころがし」
しらかば・くすのき
惜しくも 4位

個人成績
女子の部
堀井順子 優勝、ハイゲーム賞

また、「3kmジョギング大会」では、大枝中学1年の和田優香里さんが見事優勝しました。

毎年この大会で「常勝桂坂！」を作り上げていくために、パトンの「繋ぎ技」のように、次世代へ確実に繋ぐ行事の一つとして、伝統を作り上げていければと思っています。

10月12日の学区民体育祭における「大玉ころがし」で、しらかば自治会は「京都ギネス」に挑戦し、その結果は見事に2位に入賞されました。

12月14日、京都府公館において認定証等の授与式があり、出席いたします。

桂坂体育振興会

この「桂坂」一三八号は創立二〇周年記念の特集号で四頁立て。次号は、来年2月の半ばに発行を予定しています。

桂坂学区民体育祭
しらかば自治会の
「大玉ころがし」
「京都ギネス」認定

長、西京消防署長、西京消防団長の「激励巡視」を受けます。

桂坂消防分団の
「出初式」
来年1月10日（土）
11時より、桂坂小学校玄関前広場（雨天の時は体育館）で出初式を行います。